

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆10～12月の気温は全国的に高く 気象庁予報、今冬は暖かい見込み

・気象庁は10～12月の3カ月予報を発表。全国的に平年より平均気温が高くなり、降水量は北日本、東日本の太平洋側、西日本で平年並みか多い見込み。12月から2027年2月までの寒候期予報も発表。エルニーニョ現象が冬にかけて続き暖冬傾向にあると見込む。平均気温は東日本と西日本、沖縄・奄美では高く、北日本で平年並みか高くなると予想。

◆高齢者人口2年ぶり増の3624万人、働く人は最多943万人 総務省推計

・総務省が発表した人口推計によると65歳以上の高齢者人口が前年比2万人増の3624万人。増加は2年ぶり、人口に占める割合は29.6%と過去最高を更新。65歳以上の就業者数は2025年時点で943万人と22年連続で増えて過去最多。男女別の高齢者数は男性1571万人、女性2054万人だった。

◆物価上昇率、エネ補助なければ2%超え 円安で強まるインフレ圧力

・物価の上昇圧力が根強い。8月の消費者物価指数(総合)は前年同月比で1.9%上昇。日銀が物価安定の目標とする2%を下回るのは8カ月連続。政府が支給する補助金でエネルギー価格を押し下げていなければ4月以降は2%を上回る状況。総合指数は7月と同水準。変動の大きい生鮮食品を除く総合指数の上昇率は1.7%と、7月の1.8%からは0.1ポイント縮小。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆日銀利上げ、20～30代は年2万円超の負担増 住宅ローンかさむ

・日銀は政策金利を1.25%に引き上げる。金融資産を多く持つ高齢者世代を中心に恩恵が及ぶ一方、住宅や自動車のローンを抱える現役世代は負担が増す。利上げが加速すれば世代間の格差が広がる可能性。今回の利上げは家計全体に年4000億円のプラス効果。1世帯あたり年6000円。預金金利の引き上げで利息収入が増え、ローンの負担増上回る。

◆石油連盟会長、原油調達「11月分までめど」 海峡外でも受け取り

・石油連盟の木藤俊一会長は国内向けの原油調達は「11月分までめどがついている」と話した。サウジアラビアがホルムズ海峡経由で運んだ原油を海峡外で受け取る場合もあると明らかに。海峡外で受け取る手法の安全性、継続性については「全くわかっていない」と懸念。ホルムズ海峡の迂回路の混乱にはスエズ運河経由などでも対応しているとした。

◆戸建て住宅の修繕費累計554万円 物価高にも直面 アットホーム調査

・不動産情報サービスのアットホームが公表した「一戸建て修繕の実態調査2026」によると、戸建て住宅にかけた修繕費の平均は554.0万円で、「木造」では506.8万円、「鉄筋・鉄骨造」では666.4万円。修繕費の高騰や資材不足の「影響を受けた」と答えた人は3人に1人(33.2%)に上った。このうち46.3%が修繕を「見送った」と回答。

《 注目商品 》

■永大産業、乾太くん専用収納に新柄・新プラン

・リンナイ製の家庭用ガス衣類乾燥機「乾太くん」専用収納ユニットに、空間に馴染みやすいノーブルベージュ柄、ノーブルグレー柄の2色を追加。収納ユニットにはバスタオルやストック品の収納に最適な深型引き出し付き追加プラン・フル引き出しプランを追加し収納力を高めた。



■パナソニック、乾燥性能を高めた屋外排気式・200V電源の衣類乾燥機

・屋外排気式を採用した電気衣類乾燥機「Solaire(ソレイル)」を11月上旬に発売。乾燥時に発生する高温多湿の空気をダクトで屋外へ排出する屋外排気式と200V電源を採用し乾燥効率を向上。従来の電気衣類乾燥機と比べて乾燥時間を約45%短縮し、約135分で乾燥。



■ミラタップ 高コスパなビルトイン冷蔵庫

・同社初となる家電ブランド「インヴィエラ」を立ち上げ、第1弾としてビルトイン冷蔵庫を発売。新商品の「インヴィエラビルトイン冷蔵庫」は、ノイズレスな外観と、一般家庭でも導入しやすい価格帯を両立。ミニマルデザインや生産の効率化により13万8000円(税込)～という価格を実現。

